様式12

|  |
| --- |
| 利用実績報告書　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和　　年　　月　　日国税庁長官　殿管理責任者　　所属機関名 　 職名　　　　　　　　 　 氏名　　　　　 　　　 　　　　　　令和　 年　 月 　日付研究用匿名データの利用に関する申出書により、承諾を受けた研究用匿名データの利用による研究が完了したので、下記のとおり報告します。記 |
| １．研究の名称※　申出書の研究の名称を記載する。 |
| ２．研究の実施期間 |
| ３．研究の成果の名称及び概要※　記入しきれない場合は、別紙に記載し添付する。 |
| ４．研究の成果の公表の取扱い論文（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）報告書・書籍（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）学会・研究会等で発表（名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※　公表された上記内容について、該当部分を複写し添付すること。※　上記内容について、インターネット上に関連の掲載がある場合は、併せてリンク先を掲載すること。 |
| ５.公表に当たっての留意点チェックシート　　☐　私は、研究用匿名データの成果の公表に当たって、研究用匿名データの利用に係るガイドライン第10の４に記載された基準を、研究成果物が満たしていることを確認しています。　 ☐　私は、研究用匿名データの利用に係るガイドライン第10の５に基づき、研究の成果を国税庁HPに掲載することに同意します。　　　　 （HP掲載希望日　　　　　年　　　月　　　　　※HP掲載時期を調整する必要がある場合のみ、記載してください。）※　上記について確認し、☐にチェックしてください。 |

備考

１　①本報告書は、研究の成果の公表に係る国税庁の審査を受ける際に、研究の成果とともに提出すること。

　　②また、利用終了の際に、データ措置報告書とともに、本報告書を提出すること。

２　利用終了の際に本報告書を提出する当たり、３.研究の成果の名称及び概要及び４.研究の成果の公表の取扱いの記載は「個別の報告のとおり」等、簡略した記載で差し支えない。

３　やむを得ない理由により研究が中断した場合など「研究の成果の概要」が示せない場合は、該当欄に中断するまでに実施した研究の内容を示すとともに、結果を示せない理由を記載すること。

４　用紙の大きさは、日本工業規格Ａ４とすること。

５　本報告書に記入された個人情報については、研究用匿名データの利用に関する業務のみに使用し、利用者の許可なくそれ以外の目的で使用しない。